

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

高橋 ちづ子
高紙 いわぶち
国会議員連絡所
鶴岡市美原町16-5
☎ 22-3313
FAX24-4096

無料生活相談所

関 徹
長者町11-26
24-2414

加藤 一
宝徳 仲田56
64-3941

菅井 巖
中 楯 9 6
33-0534

坂本 昌栄
稲生2-33-47
24-5993

山田 守
宝田1-9-1-31
23-6548

長谷川 剛
日枝坂本43-10
41-9148

県民一人ひとりが真の豊かさ実感できる山形県を



吉村みえこ 街頭演説



1月20日(水)

- 15:30～ 藤島ふれあいセンター前
- 15:50～ JA庄内たがわ本所前
- 17:00～ JA羽黒支所前
- 17:50～ 櫛引生涯学習センター前
- 18:20～ Aコ～プ朝日前

山形県知事選挙

誰一人取り残さない社会を

吉村氏 大雪の中市民に訴え

県知事選挙が7日告示され、吉村みえこ氏は9日の午後から、三川町ラコス前を皮切りに鶴岡市内で街頭演説を行いました。

吉村候補は大雪の中、集まった大勢の聴衆に向けて「5つの柱」を訴え、拍手と共に頑張ろうの声があがりました。

午後3時からは皆川治市長も応援に駆けつけ、県と市と連携しコロナ感染症対策を実施していることや、昨年の地震の救援事業、昨年7月の大雨被害対策など、吉村県知事の実績をアピールし、再選を訴えました。

同日午後7時から、勤労者会館大ホールで決起集会が開催され、共産党市議団5人が参加していることが紹介され、長谷川剛市議の「頑張ろう！」の力強い掛け声で締めくくりました。

12日は出羽商工会本所前(大山)、JA鶴岡本所前、鶴岡市役所前で街頭演説を行いました。

関徹県議は「吉村さんは12年間の県政で若者の正社員化、小中学校の体制の充実、看護・介護職員への支援、

商工業、農林水産業に対するあたたかい支援策を打ち出してきた。

『いのちと暮らし』を最優先に掲げ、これだけの実績を上げてきた知事はいない」と強調しました。

吉村みえこ候補は「県民一人ひとりが真

の豊かさを実感できる山形県をつくっていきます。誰もが幸せに育ち、幸せに暮らせる、誰一人取り残されることのない豊かな共生社会をみなさんといっしょにつくっていききたい」と市民に訴えました。

ゴールドパス等の利用周知を 返納者割引で事故防止に期待

第4回市地域公共交通活性化協議会

第4回市地域公共交通活性化協議会が12月22日、開かれました。

コロナ対策に係る交通事業者支援施策の報告があり、協議事項として地域内の交通網確保と事業評価、鶴岡市地域公共交通計画について報告がありました。

委員からは、1日500円から1000円で乗ることができ「つるおか1日乗り放題券」や、70歳以上の人が利用できる「ゴールドパス」利用などの周知について意見がありました。

また、免許返納者は平成30年度476人、令和元年度685人あったことが報告され、運転免許証返納者定期

割引券を併せて利用し、高齢者の交通事故防止につながることに期待が意見として出されました。

交通事業者からは、来年度4月以降地域連携ICカードの導入計画を進めていることや、運転手の不足、夜のタクシーの利用がほとんどない実態について報告がありました。山田守、長谷川剛市議が傍聴しました。



長谷川剛議員 山田 守議員

県内でも最高額の介護保険料に見直し

市介護保険事業計画等策定懇話会

第2回鶴岡市介護保険事業計画策定懇話会が、12月22日開かれました。

令和3年度から5年度までの第8期介護保険事業計画(案)では、基本理念は第7期の「誰もが、いつまでも生き活きと暮らし続けられる地域社会の実現」に「自分らしく安心して」を加えました。

要介護認定後の地域支援事業継続利用 給付外しの突破口に

地域支援事業の見直しでは、サービスを利して用いた軽度者の人が「要介護」になった場合も、継続して利用できるようにするために「Ⅲ介護保険

10月22日の厚労省令「改正」により、軽度者向けの介護予防・日常生活支援総合事業の対象者に、市町村の判断で「要介護者」も対象にできること、及び国が示すサービス価格の「上限」が、「目安」として市町村が定めることができるなど、弾力化が図られ、対応するとしています。

紙おむつ助成継続

国・県給付外し懸念

「紙おむつ等購入費用助成事業」については第8期計画でも継続されます。

地域支援事業における任意事業の「家族介護支援事業」のうち、介護用品の支給は、平成27年4月からの第6期計画で、原則として任意事業の対象外(国交付金外し)とされました。

しかし、現時点で事業を実施していた場合に限り、当分の間実施を認めました。

第7期計画においても、「事業の廃止・縮小に向けた具体的方策を検討していること」等を要件として認めてきました。

今回、厚労省の平成2年11月9日の事務連絡で、支給要件を明記し、第8期計画でも継続を認めています。

看護小規模多機能型居宅介護・介護医療院増設・増床

第8期保険料基準額については、月額約6400円〜6800円程度の見込であることが説明されました。

第7期保険料基準額は月額6580円で、国平均5869円、山形県平均6022円と比べ開きが大きく、県内13市の中で最も高い保険料となっています。

第8期計画の施設等整備計画(案)では、看護小規模多機能型居宅介護の新設又は転換で、令和4年・5年に29人の増設、介護医療院は令和3年、4年に各10床、5年に5床の増床が盛り込まれる旨が説明されました。

菅井 巖、坂本昌栄市議が傍聴しました。

共産党市議団が市長に「豪雪対策に関する要望書」提出

鶴岡市は5日、豪雪対策本部(本部長・皆川治市長)を設置しました。

積雪が鶴岡公園の観測地点で基準の70cmを

の「豪雪対策に関する要望書」を提出しました。

市民部危機管理監の早坂進氏と防災安全課長の佐藤守氏が対応し、懇談では各地の具体的な実情を伝え、対応を求めました。

2021年1月6日
日本共産党鶴岡市議団
団長 加藤 鏡一 巖 守 昌栄 剛
菅井 山田 坂本 長谷川

豪雪対策に関する要望書

鶴岡市豪雪対策本部
本部長、鶴岡市長 皆川 治 様

日頃の市政運営に敬意を表します。
1月5日、鶴岡公園の観測地点の積雪量が70cmを超え、今後も積雪が予想され市民生活に支障をきたす恐れがあるということから「鶴岡市豪雪対策本部」が設置されました。これまでの積雪により、市民からの除雪や排雪作業に関する要望が寄せられています。また、高齢者・障害者世帯など配慮を必要とする方々からも不安の声が寄せられています。さらに、気象庁の発表(5日12時)によると、1月7日から9日頃にかけて暴風雪と大雪が続く見込みとの発表もなされており、今後も厳重な警戒が必要とされています。つきましては、下記事項について至急対応をされることを要望いたします。

記

- 道路、歩道等について市民生活に支障のない様に特に次の点を徹底すること
 - 特に交通に支障をきたす横断歩道や交差点の除排雪を徹底すること
 - 登下校時の安全対策として、道字路の除排雪を徹底すること
 - 県道の排雪を県に要請すること
- 除雪の際に積み上げられ支障となっている箇所を排雪作業を急ぎ実施すること
- 市内の一次排雪場所(公園等)が満積されていることから、その排雪場所からの排雪を急ぎ実施し、排雪場所を確保すること
- 除雪作業、雪下ろし作業などの際の事故・ケガなど注意事項の徹底をすること
- 高齢者や障害者など、要配慮者に対して聞き取りを行い、除排雪作業の支援をおこなうこと
- 住宅や空き家等の実態把握をおこない、その対策を図ること
- 果樹やビニールハウス、農業施設等の被害防止を呼びかけるとともに被害の対策と支援を図ること
- 水道管の凍結・破裂によって漏水した世帯に対して、水道料金等の減額調整ができる旨の配慮説明を周知徹底すること

以上

通知では「例外的な激変緩和措置であること」を強調しており、市では、対象要件の検討を継続するとしています。今後、紙おむつ助成事業に対する国・県交付金外しが懸念されます。

建築課入札結果 () 内は予定価格

1月7日入札分
・市ゆうあいプラザかたぐるま空調設備改修工事 その2 (ほなみ町3番2号) (入札7業者うち1業者辞退)
(株)アクアプラス 8,770,000円 (8,910,000円) 工期~3/25 (落札率98.43%)



坂本昌栄議員



菅井 巖議員